

6/20 面談用資料

TEPCO

- 日々の地下水流入により生じる汚染水の増分を適切に貯留するため、新たなタンクを計画的に設置していく
 - 新たなタンクは、漏えいしがたい堅牢な溶接タンクとする
 - 溶接タンクは、汚染水処理の最終状態であるALPS処理済水の貯留用とする
 - 溶接タンクは、サブドレン、フェーシング、陸側遮水壁等による地下水流入抑制効果を見極めながら、計画的に増設していく
 - 陸側遮水壁の運用に必要となる緊急移送先については、今後の滞留水水位の低下に伴い必要容量が減少していくことから、将来の廃棄物発生抑制を考慮し、現有するフランジタンクも使用する

■ 今回申請した新設タンクの使用目的について

- 日々の地下水流入により生じる汚染水のリスク低減のため、溶接タンクを設置しALPS処理を進めていく
- フランジタンクに貯留しているSr処理水のリスク低減・早期処理完了のため、日々の地下水流入量を上回るタンク容量を確保することでALPS処理を進めていく
- 上記により、フランジタンクの処理を進め、溶接タンクへリプレースしていく

フランジタンクに貯留しているSr処理水の処理見通しについて

- 現在の地下水他流入量は約400 m³/日と評価
- 条件1
 - 陸側遮水壁第一段階の効果を見込んで約250 m³/日を条件に設定
 - 将来的には、陸側遮水壁第二段階の効果等により、さらに流入量が低下すると想定
- 条件2
 - 陸側遮水壁の効果が想定ほど発現しない場合の条件に設定
 - 地下水ドレン前処理設備（RO装置）の導入により、最大でも約350 m³/日程度に低下すると想定（参考資料1参照）
 - 地下水ドレンの建屋への移送量約100m³/日の場合に約50m³/日の低減を見込む

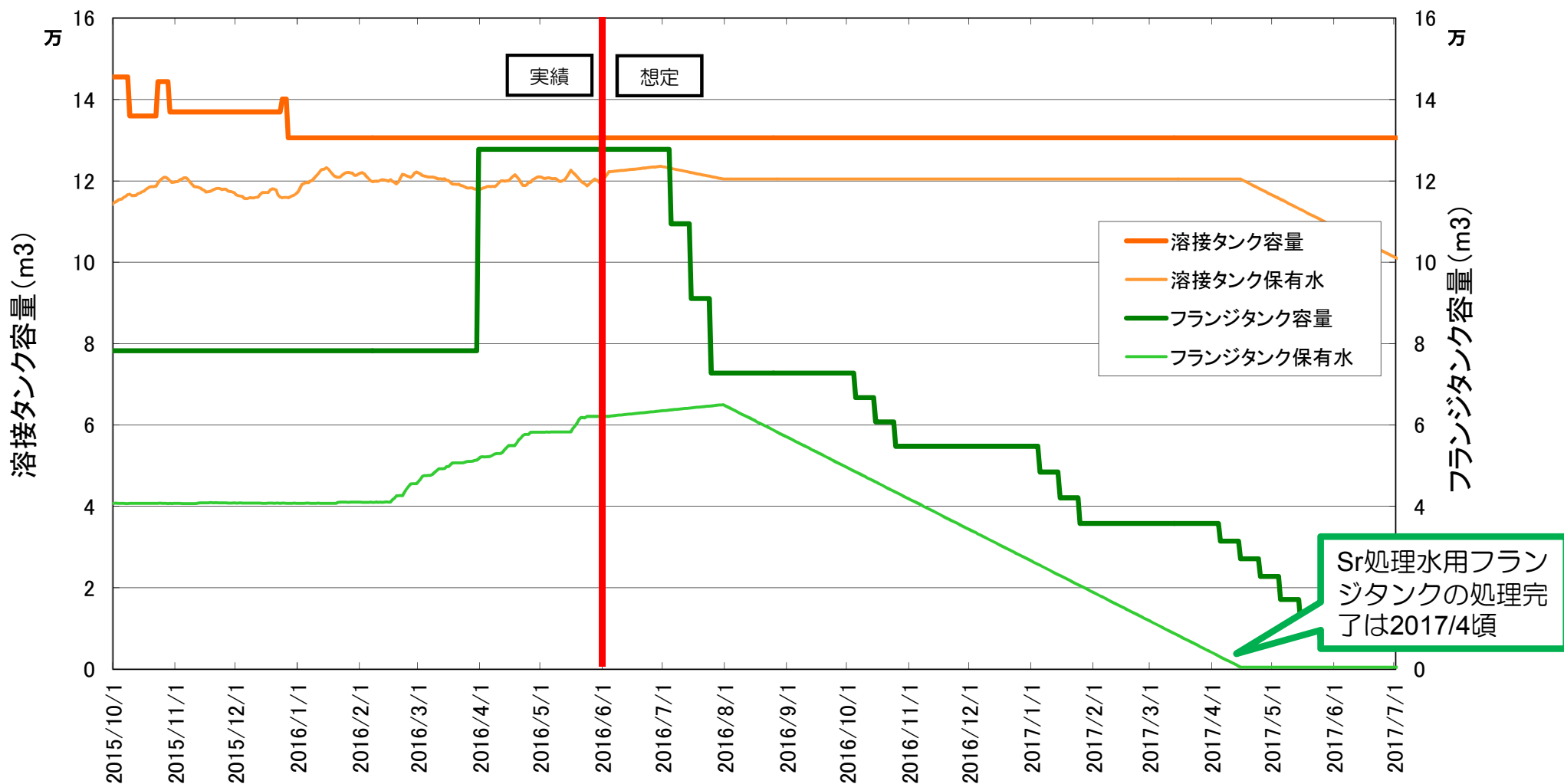
	地下水他流入量	ALPS処理量※	フランジタンクに貯留しているSr処理水の処理完了見込
条件1	○～2016.5/31:実績反映 ○2016.6/1～6/30:約400 m ³ /日 ○2016.7/1～:約250 m ³ /日	○2016.6～7/31:約300 m ³ /日 ○2016.8/1～:約500 m ³ /日	2017/4頃
条件2	○～2016.5/31:実績反映 ○2016.6/1～6/30:約400 m ³ /日 ○2016.11/1～:約350 m ³ /日	同上	2017/11頃

※新規タンク建設容量から処理可能量を算出し、前提条件として使用

フランジタンクに貯留しているSr処理水は、2017年内の処理完了を目指す

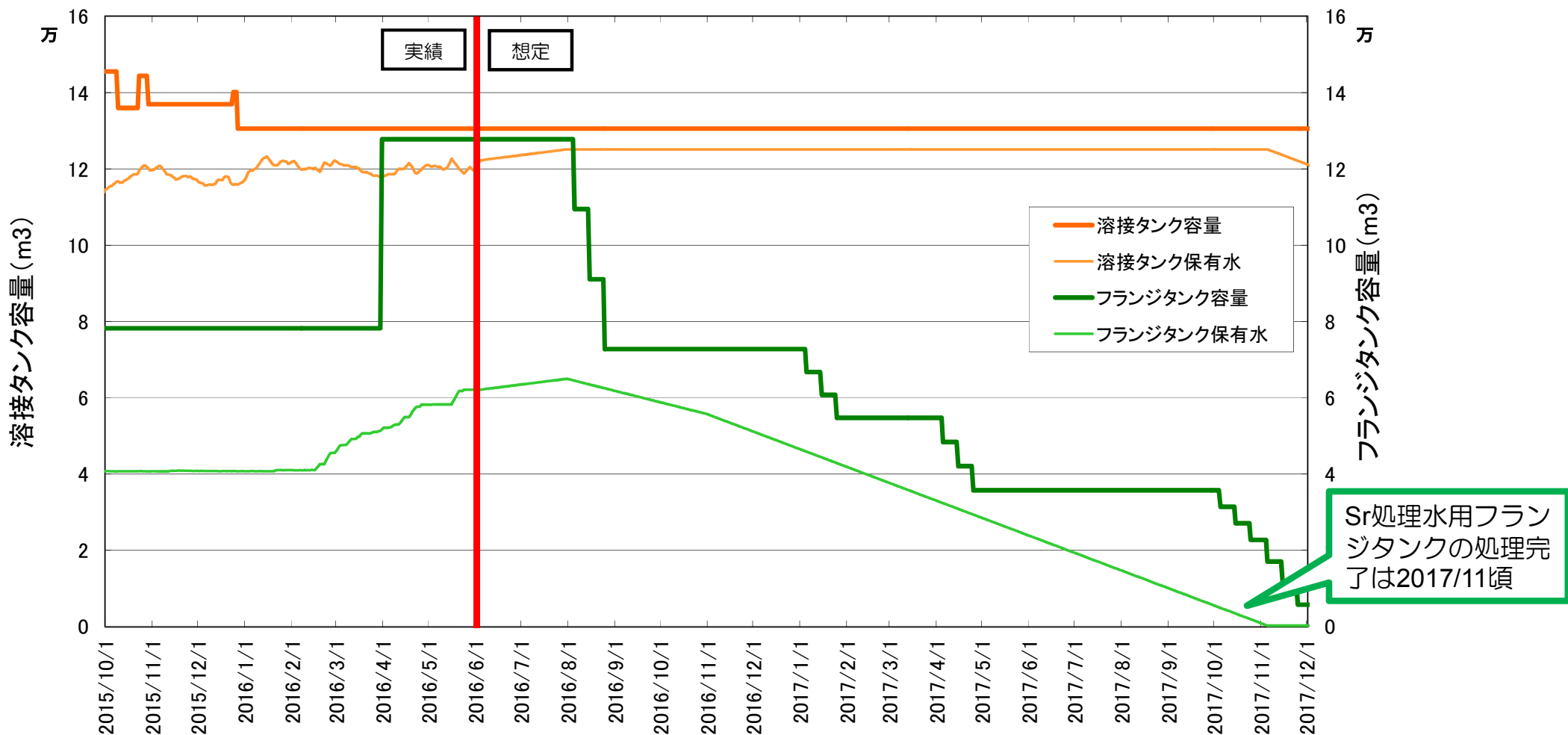
条件1:水バランスシミュレーション(Sr処理水貯槽)

■ Sr処理水貯槽容量／保有水量を溶接タンク（橙）／フランジタンク（緑）別に表したものを下グラフに示す



条件2:水バランスシミュレーション(Sr処理水貯槽)

■ Sr処理水貯槽容量／保有水量を溶接タンク（橙）／フランジタンク（緑）別に表したものを下グラフに示す



タンクに係わる敷地利用計画について

- 現在のタンク設置工程を参考資料2に示す。（6/9現地調整会議資料）
- 2017年度以降については、下記エリアのタンクを撤去し、信頼性の高い溶接タンクへのリプレースにより、跡地に新規タンクを設置する計画である。

エリア	公称容量 [m ³ /基]	基数	容量 [m ³]	現在の状況
C	1,000	13	13,000	満水保管中
E (AE群)	1,000	18	18,000	満水保管中
E (BCD群)	1,000	31	31,000	残水処理中
H3	1,000	11	11,000	残水処理中
H5	1,000	23	23,000	残水処理中
H5北	1,000	8	8,000	残水処理中
H6	1,000	8	8,000	残水処理中
H6北	1,000	16	16,000	残水処理中
H9	1,000	5	5,000	RO処理水運用中
H9西	1,000	7	7,000	RO処理水運用中
G4	1,000	23	23,000	満水保管中
G5	1,000	17	17,000	満水保管中
G6	500	38	19,000	満水保管中

フランジタンク
合計：199,000m³

エリア	リプレース前容量 [m ³]	リプレース後容量 [m ³]	現在の状況
G1	7,200	30,000 (概略)	満水保管中

ブルータンク
合計：30,000m³

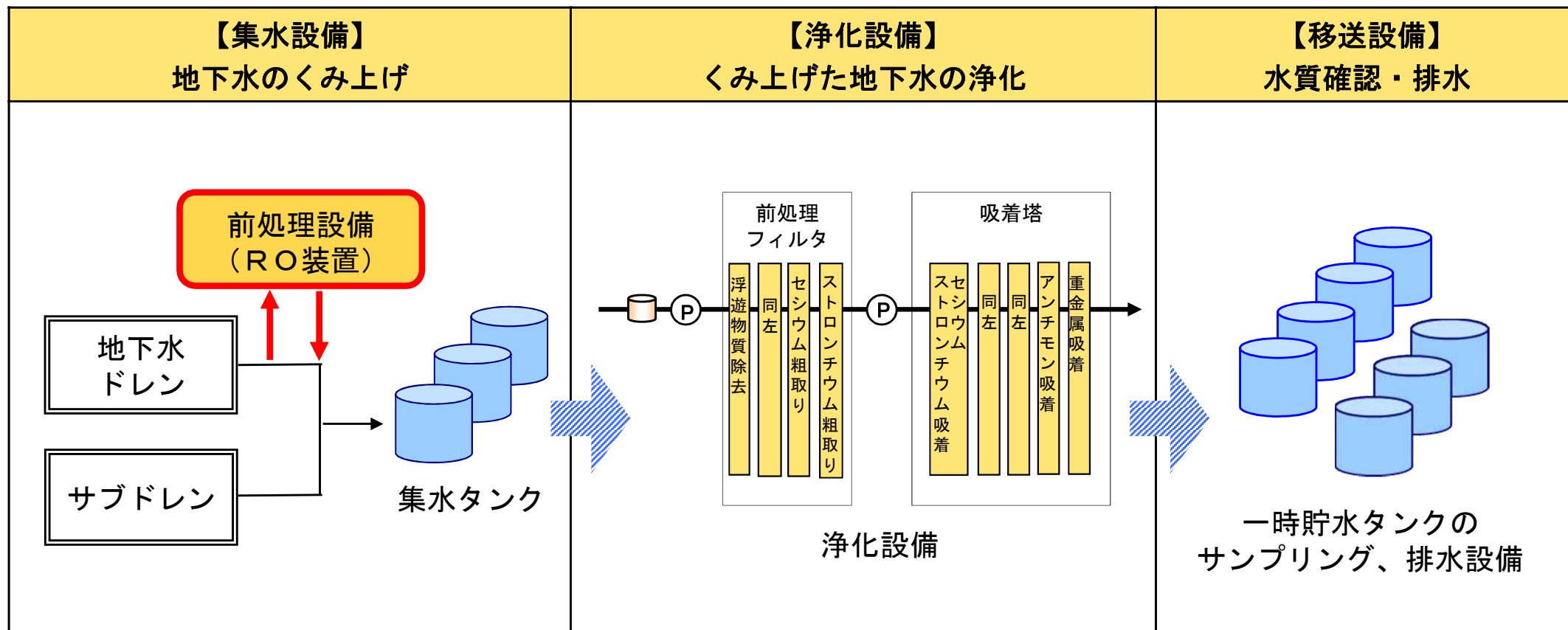
■ タンク設置が遅れた場合の影響について

- 既に溶接タンクの空き容量はほぼないことから、日々流入する地下水等をSARRY/KURIONおよびROで処理した後、Sr処理水としてフランジタンクへ移送することになる。（今回のタンクと同時申請中のEエリア等へのALPS処理済水移送配管を使用し、陸側遮水壁の効果や、大雨により使用するタイミングが前後するが、7月上旬にはEエリアはALPS処理済水の移送を開始する予定であった。）
- 残水処理中のE（B,C,D群）, H5北, H6北エリアや底板がType1のH5, H6エリアへ移送する。
- 残水処理中のタンクの解体に着手ができないことから、リプレース計画が成立しない。

エリア	空き容量 [m ³]	底板フランジ タイプ	使用予定順
E (BCD群)	31,480	Type3,4,5	1
H5北	7,360	Type2	2
H6北	16,590	Type2	3
H5	23,250	Type1	4
H6	8,320	Type1	5

- 地下水ドレンはサブドレンに比べて、塩分濃度、全β濃度、トリチウム濃度が高いことから、サブドレン他浄化設備を安定的に稼働できるように、塩分濃度、全β濃度を低減するための前処理設備※を設置し、水質を改善した後、サブドレン集水タンクに移送することを計画している（トリチウム濃度は低減できないため、排水運用基準を遵守できるように計画的にくみ上げる）

※逆浸透膜装置（RO装置）



参考資料2:タンク工程(新設分)

		2015年度						2016年度												16.6末の見込 計画基数	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		4月以降
		新設タンク																			
J7 現地溶接型	4月26日進捗見込	タンク																			
	基数	6.0	4.8	13.2	8.4	8.4	0.0	4.8													
	6月9日進捗見込	地盤改良・基礎設置																			
	基数	5	4	11	7	7	0	4													
J8エリア 現地溶接型	4月26日進捗見込	6.0	4.8	13.2	7.2	9.6	0.0	4.8													
	基数	5	4	11	6	8	0	4													
	6月9日進捗見込	タンク						4.9	1.4												
	基数							7	2												
J9エリア 現地溶接型	4月26日進捗見込	地盤改良・基礎設置																			
	基数							8	1												
	6月9日進捗見込 (概略)	地盤改良・基礎設置						タンク			2.1	2.1	2.1	2.1							
	基数											3	3	3	3						
K3 完成型	4月26日進捗見込	地盤改良・基礎設置						タンク													
	基数							4	4	4											
	6月9日進捗見込	地盤改良・基礎設置						タンク													
	基数							4	4	4											
K4 完成型	4月26日進捗見込	地盤改良・基礎設置						タンク			10.0	10.0		10.0	5.0						
	基数										10	10		10	5						
	6月9日進捗見込 (概略)	地盤改良・基礎設置						タンク			10.0	10.0		10.0	5.0						
	基数										10	10		10	5						

参考資料2:タンク工程(リプレース分)



		2015年度					2016年度												16.6末の見込 計画基数		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月以降
H1ブルータンクエリア 完成型	4月26日進捗見込	タンク撤去・地盤改良・基礎設置					5.0	10.0	8.0	太数字:タンク容量(単位:千m3)											
	基数						4	8	12												
	6月9日進捗見込						5.0	5.0	10.0	10.0											
	基数						4	4	8	8											79基/87基
H1東フランジタンクエリア 完成型	4月26日進捗見込	地盤改良・基礎設置					フランジタンクエリアのタンク開発量は、 上記ブルータンクエリアに計上														
	既設除却	残水・撤去																			
	6月9日進捗見込																				
H2ブルータンクエリア 現地溶接型	4月26日進捗見込	地盤改良・基礎設置					残水・撤去 タンク														
	基数																				
	既設除却	▲ 10																			
	6月9日進捗見込 (概略)						2.4	4.8	9.6	9.6	7.2	14.4	12.0	14.4	31.2						
	基数						1	3	5	1	4	2	5	4	19						基/44基
H2フランジタンクエリア 現地溶接型	4月26日進捗見込	残水・撤去					地盤改良・基礎設置												工程前倒し案を検討した結果、年度内5基程度の上積み可能 との結果を得る		
	既設除却																				
	4月26日見直																		フランジタンクエリアのタンク開発量は、 上記ブルータンクエリアに計上		
H4エリア 完成型	4月26日進捗見込	残水・撤去					地盤改良・基礎設置												10.0	20.0	
	基数																		10	20	
	既設除却	▲ 22 ▲ 26																			
	6月9日進捗見込 (概略)																		12.0	24.0	
	基数																		10	20	

リプレースタンク

参考資料2:タンクエリア図

